

平成29年度 予算編成方針 概略

平成28年10月12日

山県市企画財政課

I 予算編成に当たっての背景

1. 地域経済の情勢 p 1 関連

① 岐阜県内経済情勢 平成28年8月、財務省東海財務局 岐阜財務事務所

「岐阜県内経済は、一部に弱さがみられるものの、全体として回復している。」

② 法人企業景気予測調査 平成28年9月13日、法人企業景気予測調査、財務省東海財務局 岐阜財務事務所

「全産業の現状判断は「下降」超 28年10-12 月期は「下降」超幅が減少する見通し」

③ 有効求人倍率の推移 平成28年9月、厚生労働省 岐阜労働局

「8月の有効求人倍率は1.65倍で全国第4位」

法人企業の景気や有効求人倍率は、
規模や業種・職種ごとに、マクロベースでも差異あり

- 企業の景気では、「中小企業」「非製造業」は「下降」
- 有効求人倍率では、「事務的作業」は約0.5倍

2016/10/12

3

2. H29概算要求等(国)の状況 p 2 関連

① H29当初予算の概算要求に当たっての基本的な方針について 平成28年8月2日閣議了解

「経済財政運営と改革の基本方針2015」(H27.6.30閣議決定)で示された「経済・財政再生計画」の枠組みの中で取り組む

② H29当初予算では、国の総合戦略等に基づく個別政策 8,116億円

※ 引き続き「新しい日本のための優先課題推進枠」(前年度予算額の3割以内で要求)あり

③ H29当初予算では、地方創生推進交付金※^a 1,170億円 (事業費ベースで2,340億円)

④ H28補正予算で、地方創生拠点整備交付金※^b 900億円 (事業費ベースで1,800億円)

※ ハード事業が主体で、地方分1/2には補正予算債(後年度措置50%)の発行が可能

本市が実施すべき施策等については、「④地方創生拠点整備交付金」「③地方創生推進交付金」のほか、「②国の総合戦略等に基づく個別政策」「新しい日本のための優先課題推進枠」等の情報収集により積極的に活用

2016/10/12

4

参考図①（デフォルメ図）

※ a ③地方創生推進交付金…ソフト事業主体、補助率1/2

交付金	市 費
-----	-----

※ b ④地方創生拠点整備交付金…ハード事業主体、補助率1/2+補正予算債

交付金	補正予算債
	（市 費）

2016/10/12

5

3. 山県市の財政状況 p 3 関連

① H26決算以降、起債許可団体は脱出中（原則届出制）

② H27決算の実質単年度収支※^cは約5億円の赤字

※ 実質的な財源不足に伴う基金繰入は、H26は3.5億円、H27は4.5億円、H28も

③ H28の地方交付税（本市最大収入）は漸減化中

※ 合併特例措置額の漸減、人口減少による漸減

④ 合併特例債※^d（発行可能残は7億円弱）の発行期限はH29限り

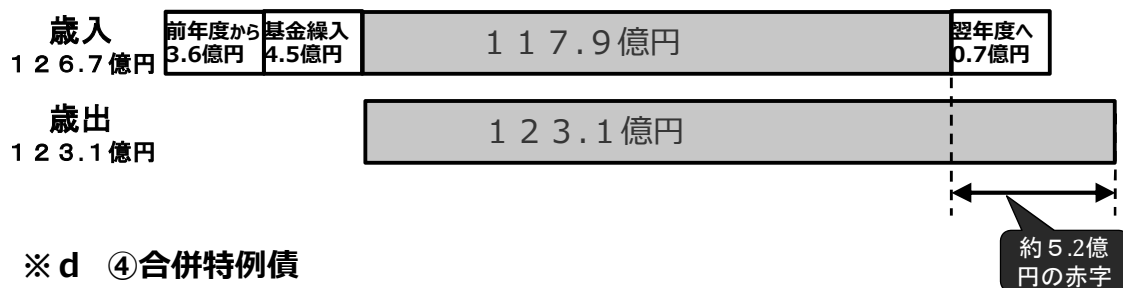
厳しい財政状況を踏まえつつ、本市が実施すべき施策等は積極的に予算化する「メリハリの利いた予算編成」を

2016/10/12

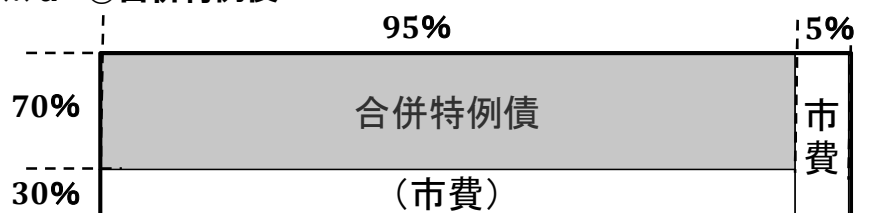
6

参考図②（デフォルメ図）

※ c ② H27 決算実質単年度収支は約 5 億円の赤字



※ d ④ 合併特例債



2016/10/12

7

Ⅱ H29予算編成のポイント

2016/10/12

8

1. 平成29年度のポイント p 4 関連

①東海環状自動車道インター開通（2019目途）を視野に

- 自然環境も生かした活力ある地域づくりとしてのインフラとして活用

②公共施設等のリストラクチャリング（再構築）

- 公共施設等総合管理計画に基づく有利な制度の活用（平成29年度限り）

③H29限りの有利な「合併特例債」「公共施設最適化事業債」等の活用

④補正予算（地方創生・補正予算債等）の活用視野に17カ月予算の意識で

縦割の弊害を乗り越え、全庁体制で協力し合った「戦略的な予算編成」を

2016/10/12

9

2. 予算編成の基本的視点 p 5～8 関連

①予算全般的事項

- 若者・女性・高齢者の活躍等を視野に入れ、多様な視点・新しい発想での予算編成
- 大胆な「スクラップ・アンド・ビルド」と「サンセット」にチャレンジ（補助制度、公共施設のあり方など）
- 利害関係者・非利害関係者等双方の視点による「市民目線」での予算編成

②歳入・歳出予算関連

- 国庫財源等を「生かそうとする視点」と「模索する視点」、ふるさと納税制度等を生かそうとする視点など
- 現職員以外の活用、アウトソーシングの内部化、適正な市場競争の確保など

③特別会計等関連

- 国による近々の大幅な制度改正へ対応、リスクマネジメントを意識した設備更新など

市民にも分かりやすく、魅力的な予算編成（従来型＋複数案からの選択）

2016/10/12

10

3. H29の重点的事項 p 9～11関連

①包括的な子育て支援の推進

- 部局を超越して子育て支援日本一を目指し、女性の就業（希望をかなえる）も目指す
- 山県市唯一の高等中等教育機関「山県高校」の発展目指した連携等の検討 など

②戦略的なまちづくりの促進

- 30歳代のUターン減少が顕著、長期的視点と短期的視点での複眼思考の下に予算編成を

③健康寿命の延伸

- ロコモティブシンドローム予防、ソーシャルキャピタルの推進 など

「包括的な子育て支援」「戦略的なまちづくり」「健康寿命の延伸」を意識して

2016/10/12

11

4. 「山県市力」を生かした予算編成 p 11関連

①山県市まちづくり基本条例施行（H28.3.18）後初の予算編成

前文「私たちは、こうした自然の恵みと、先人が築き上げてきたこのまちを、次の世代に引き継いでいかなければなりません。そして、市民一人ひとりを思いやり尊重し、自治の担い手として互いに力を合わせ、安心して暮らせるまちづくりの推進に努めなければなりません。」

②ビッグデータ活用したRESAS（リーサス）を生かして

- 内閣府が開発した「地域経済分析システム」の活用を

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/resas/pdf/h27-10-13-what-resas.pdf>



「包括的な子育て支援」「戦略的なまちづくり」「健康寿命の延伸」を意識して

2016/10/12

12

5. 予算編成留意事項のポイント p12～関連

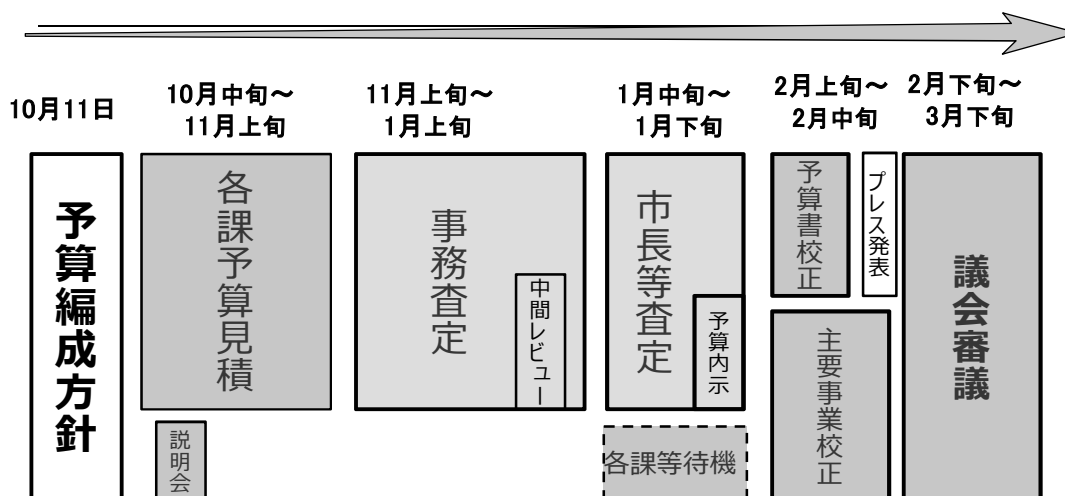
- ① **ゼロシーリングを基本とした予算編成** 事業ごとに一般財源ベースで前年度当初予算額と同額以内
- ② **指定施策の個別検討（H29当初予算編成までに検討が必要な重要個別案件）**
- ③ **予算見積書の提出** 基本は平成28年11月4日（月）午後3時までに5部 ※別途の締切りのものもあり
- ④ **予算査定関連**
 - ポイント部分は企画財政課長、その他は企画財政課財政担当主幹による査定・ヒアリング
 - 市長・副市長査定は、企画財政課長がまとめた案を元に、企画財政課が受ける（各課は待機）。
 - 予算内示は、平成29年1月下旬～2月上旬の予定

事務査定は、予算主管課による特段の説明 → 企画財政課による質疑の順
バックデータ等の下に「有意義で建設的な討議」を目指して御協力を

2016/10/12

13

H29の予算編成スケジュール（予定）



2016/10/12

14